

社会福祉法人
豊田市社会福祉協議会
〒471-0877
愛知県豊田市錦町1-1-1
TEL (0565)34-1131
<http://toyota-shakyo.jp/>

赤十字の活動資金にご協力をお願いします。



日本赤十字社豊田市地区では、毎年5月の赤十字運動月間を中心に、自治区長さん、組長さんなどのご協力により、社員(会員)へのご加入と活動資金のご寄付をお願いしています。

お預かりした活動資金は、豊田市地区から愛知県支部に送金し、自然災害などにおける災害救護活動や国際救援活動をはじめ、地域での赤十字活動など様々な人道的活動に大切に使用させていただきます。ぜひご協力をお願いします。

●赤十字の活動 意外と身近なところにもあります「赤十字！」

- * t-FACE 9階の「豊田献血ルーム」の運営などの血液事業
- * 「日赤豊田看護大学」など、日赤看護大学・専門学校での看護師の養成
- * 各小中高等学校などのJRC(青少年赤十字)の活動支援
- * 「豊田市赤十字奉仕団」など、赤十字ボランティアの活動支援
- * 火災などの被災者への救援物資(毛布や見舞金品等)の配布
- * 救急法・幼児安全法など講習会の開催
- * 「名古屋第一赤十字病院」、「名古屋第二赤十字病院」など、赤十字病院の運営
- * 伊豆大島の台風災害など、国内の災害現場での救護活動・医療活動
- * フィリピンの台風災害など、自然災害や海外の紛争への国際救援活動 など



伊豆大島で消防庁とともに被災状況を確認する先遣隊
©日本赤十字社

●上記のような赤十字の活動の趣旨にご賛同いただける方へ

赤十字活動資金(社資)にご協力いただける場合には“社費(会費)”として“寄付金”としての2つの方法があります。

社費：人道的活動に参加するため、社員として年額500円以上のご協力をいただく方法です。

寄付金：社員としてではなく一般的な寄付金として人道的活動にご協力いただく方法で、金額に定めはありません。

(社費としてご協力いただく場合は、赤十字社員加入・寄付申込書(封筒)に、お名前とご住所のご記入をお願いします。)



豊田市赤十字奉仕団 防災講習会の様子

- * 活動資金へのご協力は任意であり、強制ではありません。
- * 領収書により、税制上の優遇措置が受けられます。
- * 社員(会員)は半年ごとの募集で、毎年お願いしています。
- * 社員の方を対象に、特定の活動等をお願いすることは一切ありません。

<問合せ>

日本赤十字社 愛知県支部 (052)971-1591
豊田市地区(豊田市社会福祉協議会内) 34-1131

豊田市社会福祉協議会の理念・経営方針

理念

私たちは、地域住民と協働して社会福祉事業を進め、子供から高齢者まですべての人々がともに助け合い、安全で安心して暮らすことができるぬくもりのあるまちづくりをめざします。

経営方針

- (1)福祉関係者との連携を密にし、積極的に地域福祉を推進します。
- (2)愛と思いやりをもって質の高い福祉サービスを提供します。
- (3)住民(会員)の期待に応えられるよう提案型の事業経営を行います。

思いやり いつでもどこでも 誰にでも



わたしたちの地域は

「自然が豊かで、子どもたちが生き生きとしており、転入者にも優しい良識のあるまち!!!」

昨年12月から各中学校区で開催をしてきた「みんなが参加する住民懇談会」。自治区長さんや民生委員さん、コミュニティ会議福祉部会や地域会議、老人クラブやボランティアの皆さんにより、地域の実情を住民相互で確認する懇談を実施してきました。

● テーマ1) 安心・安全、自慢できるところ ●

みなさんからの意見(例)

- ・小中学生がしっかりあいさつできる
- ・住民同士のふれあいの機会が充実している
- ・新旧住民が自然となじめる環境
- ・子どもたちへの見守り隊がある
- ・基本的な生活は徒歩・自転車で可能
- ・地域の伝統が次世代に継承されている
- ・自治区の活動に住民が協力的
- ・企業と自治区が連携している

など



住民懇談会の話し合いの様子



足助地区では中学生も参加しました

● テーマ2) 心配ごと、悩みごと、困りごと ●

みなさんからの意見(例)

- ・若い世代が自治区活動に関心が低い
- ・集いの場がない
- ・生活用品等買出しに不便
- ・子どもたちを外で見かけなくなった
- ・空き家が増加している
- ・地域の活動の担い手が見つからない
- ・外国籍住民が多く、コミュニケーションが難しい
- ・車いす利用者が寄れるお店が少ない

など

○ 今年度の「みんなが参加する住民懇談会」は次のステップに続きます！

各地区で出されたご意見を整理し、何が地域での課題であるのかを確認し、「社会福祉協議会にできること」「地域住民だからこそできる役割」等について具体化させていただきます。

<問合せ>

地域福祉課 電話 31-1294

豊田市福祉センター交流コーナーへお立ち寄りください!

豊田市福祉センター3階にある交流コーナーは、ボランティアグループや市民団体、地域の方などの「交流」を目的としたスペースです。

様々なボランティア作業やイベントも予定しています。ぜひお越しください。

■毎月実施するもの■

- ・収集物整理ボランティア活動(第1木曜日 午前10時~正午)
使用済み切手等整理するボランティア作業です。【右写真参考】
- ・ぼらんていあだより発送作業(毎月末 午前10時~正午)
ぼらんていあだよりを折って封筒に入れるボランティア作業です。
- ・笑HAHAひろば(第3火曜日 午前10時~午前11時)
未就園児と保護者が楽しめる企画(紙芝居、人形劇、工作等)です。



■常時行うもの■

- ・ボランティア活動紹介パネルや活動披露スペースの設置【左写真参考】
- ・福祉施設のボランティア募集情報や施設概要のパンフレットの設置
- ・ボランティアや福祉施設の作品展示 など

<問合せ>

地域福祉課/ボランティアセンター 電話 31-1294

車いす用福祉車両を寄贈していただきました!

足助地区在住の川合忠儀様より、地域での福祉の推進が図られるようにとの思いから、車いすを利用される方がそのまま乗車できるスロープ付の軽自動車をご寄贈いただきました。

車いすを利用される方が介助者の方と買物や通院などで外出される際にご利用いただけるように、貸出用の福祉車両として活用させていただきます。

<問合せ> 足助支所 電話 62-1857



企業向けの認知症サポーター養成講座を行っています。



碧海信用金庫高岡支店での
認知症サポーター養成講座の様子

認知症サポーター養成講座は、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらうための講座です。たとえば、友人や家族に認知症の知識を伝える、認知症になった人や家族の気持ちを理解するよう努める、商店や交通機関など、まちで働く人としてできる範囲で手助けをするなど、認知症サポーターの活動は人それぞれです。

対象は市内に事業所のある企業(福祉関係事業所を除く)で、基幹包括支援センターと地域包括支援センター職員が協力して行っています。職場や学校などで、認知症の基礎知識やサポーターとして何ができるかなどを1時間から1時間30分ほどで学習します。講座を修了された方には、認知症サポーターの証となるオレンジリングをお渡しします。講座の開催をご希望の場合はお気軽に基幹包括支援センターまでご相談ください。

<問合せ> 豊田市基幹包括支援センター 電話 63-5279

※自治区や老人クラブなど地域で開催する場合はお住まいの中学校区を担当する地域包括支援センターにご相談ください。

障がい者総合福祉会館実施事業

重度心身障がい児サマースクールをご紹介します!

障がい者総合福祉会館(西山町)では、毎年8月に重度心身障がい児サマースクールを開催しています。本事業は夏休み期間中、小学生から高校生までの障がい児を対象に宿題や遠足、レクリエーション等を通じて自立と社会参加の促進を目的に実施します。また、本事業は多くのボランティア、運営スタッフに支えていただいております。ボランティア、運営スタッフの皆さんには本事業に参加することで障がいへの理解を深めてもらい、ボランティア活動へのきっかけとなればと考えます。平成25年度は障がい児41名とボランティア、運営スタッフとして高校生、大学生、一般の方52名に参加いただきました。今年度は8月の第2週の1週間実施を予定しています。

<問合せ> 障がい者総合福祉会館 電話 34-2940



【豊田市社会福祉協議会連絡先一覧】

- 総務課 34-1131 ●地域福祉課 31-1294 ●地域福祉サービスセンター 32-4341
- 基幹包括支援センター 63-5279 ●障がい者総合福祉会館 34-2940 ●豊寿園 27-2200
- 旭支所 68-3890 ●足助支所 62-1857 ●稲武支所 82-2068
- 小原支所 65-3350 ●下山支所 90-4005 ●藤岡支所 76-3606

小・中・養護学校の児童生徒がお年玉を募金

豊田市立小・中・養護学校青少年赤十字（全校加盟）により「正月のおこづかいから、困っている人を救おう」をテーマに、「アジア国々への教育支援・東日本大震災で被害に遭われた方々への義援金支援」の2つの目的で募金活動が実施されました。

＜豊田市青少年赤十字指導者協議会 板倉修会長(右)より＞

○募金総額

1,415,595円

この募金は、日本赤十字社豊田市地区より愛知県支部を通じ、それぞれの目的宛に送金されます。



ご寄付ありがとうございました

(平成25年7月1日～平成26年2月28日までの寄付者一覧) 順不同、敬称略。

※この他にも匿名で多くのご寄付をいただきました。

＜市社会福祉協議会への寄付＞

清次の会内田清次、心つなぐカフェ、築瀬国男、梅田康司、タイマッサーじはっとな、(株)豊田柴田工業松田一雄、岡本修司、長谷川敦男、豊田遊技業防犯組合、板倉忠善、とくの屋豊田若林店、日本糸条労働組合豊田支部、高橋地区コミュニティ会議、豊田モロロジー事務所、(株)クラチスタチオ、高上二丁目自治会、豊田美術連盟、(株)JAあいち豊田サービス、トヨタ車体GL会、トヨタ車体TL会、全日本練士会空手道連盟、お茶の純平、磯谷公明、今自治区、美里ふれあいフェスタ実行委員会、保見ふれあい祭り実行委員会、長興寺自治区青壮年同士の会、えぷろんフーズ(株)、碧海信用金庫豊田西支店、前林地域ふれあいまつり(ホームベーカリーの友、Mae・Net、あいうえお前林、凧作りの会、シルバー人材センター、明日の元気塾、茶筌の会)、梅沢春香愛好会、暮らしの手作り工房ちやるま、双美町13組、梅坪台地区コミュニティ会議青少年育成委員会、シルバー人材センター、衣丘道院(少林寺拳法)、トヨタ自動車労働組合、(株)こさなぎ、旭硝子労働組合愛知支部、第一生命労働組合豊田支部、(公社)豊田法人会女性部会、豊田市教職員自主研究グループ(音楽)、高年大学10期匿名、豊田工業高等専門学校吹奏楽部、東海税理士会豊田支部、ハウジングサイトAXIS(株)、(特非)日本入れ歯リサイクル協会、(公社)愛知県宅地建物取引業協会豊田支部、笹戸小学校同級会(35年度卒業)、藪下千尋、前田幸子、足助地区コミュニティ会議福祉部会、川中忠儀、足助中学校生徒会衛生委員会、旧足助町保育園長OB・OG会、蛭子正憲、稲武仏教会、今泉雄生、第9回豊田市小原地区チャリティゴルフ大会、トヨタ自動車(株)EX会生技支部、豊田市立巴ヶ丘小学校4年生、鈴木基史、JAあいち豊田女性部下山支部、あいち豊田農業協同組合、カラオケ喫茶ふじ、ザ・やまびこ、藤岡ゴルフ連盟、男性のための料理教室、(公社)シルバー人材センター藤岡支所、もぐもぐ藤岡店、藤岡地区老人クラブ連合会、日蓮宗立正教会、白石カツエ、パインズゴルフクラブ小原地域感謝祭、藤岡南地区老人クラブ連合会

＜豊田善意銀行への寄付＞

野見山住人、丸和電子化学(株)黄レンジャーサークル、(株)都工業、田中イサオ、田中正俊・美代子、豊田市婦人交通安全奉仕会、TSN会、第27回吟舞歌の祭典、すまいる演歌同好会、市内公共施設善意の箱

義援金へのご協力ありがとうございました

＜平成26年1月1日～2月28日に本会窓口で受付けた義援金：東日本大震災義援金、伊豆大島台風26号災害東京都義援金、2013年フィリピン台風救援金＞

掲載名及び送金先は、寄付者の意向に準拠しています(敬称略、順不同)。

逢妻地区新成人代表、トヨタ工業学園、戸田粋子、豊田市立畠部小学校、朝日丘地区区長会、美里ロビー朝市の会、リサイクル手芸(木田)、下和会にここサロン、NPO法人美里スポーツクラブ第3回交流卓球大会、(尙)豊南焼肉、若園地区コミュニティ会議、豊田市立高嶺小学校、足助高校フリマ平成26年度新成人実行委員会、梅村すゑ子、平成25年度第2回ボランティア連絡会議参加者、本会指定管理施設義援金箱

※この他にも匿名で多くの義援金をいただきました。

東日本大震災義援金協力実績(平成26年2月28日現在) 金額：132,275,819円

【東日本大震災義援金について】日本赤十字社では平成27年3月31日まで期間を延長して募集しています。

詳しくは、日本赤十字社及び本会総務課までお問合せください。(問合せ 総務課34-1131)